



福祉は <ふ< だんの <らしの しあわせ>



“自助・共助・公助”は福祉の大切なポイント

一人ひとりが福祉の意識
を持つことが大切です。
地域の一員として考えて
ほしいの



少子高齢化、核家族化が急速に進み、自殺やホームレス、家庭内暴力、虐待、ひきこもりなど新たな社会問題が生じる中、個人の価値観も多様化し、生活の基本である家庭や自分自身で出来ることを行なう**自助**の機能が弱まっています。誰もが、その人らしく尊重された生活をおくることのできる社会の実現のためには、**公助**としてのさまざまな制度の充実のみならず、自助を支援するためのボランティア活動や、近隣の見守り、支え合い、助け合いという市民参加による**共助**のしくみが重要になっています。地域の絆を大切にし、ネットワークを構築していくことで「自助・共助・公助」の3つの福祉のしくみを活性化させていくことが重要です。



課題解決は、みんなの力で!!

高齢者・障がいのある人・子育て家庭の支援など、個人だけで解決できない問題は、地域の課題として、市民とともに市や企業、NPOなどの関係する団体が、各々のできることを相互に協力し合い、主体的に課題の解決に向けて連携していくことが大切です。



“ノーマライゼーション”は福祉の基本的な考え方

ノーマライゼーションは、障がいのある人や高齢者などを一般社会から引き離して特別扱いするのではなく、誰もが同じ人間として普通に生活を送ることがあたり前だとする考え方であり、誰もが共に生きる（共生）社会の実現を推進していく福祉の基本的な考え方です。

さらに現在は、全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、共に生きる社会の構成員として包み、支え合うことを表すインクルージョン（“包括”）という言葉を用いることが多くなっています。

この計画は、市社会福祉協議会の広報誌やホームページで、随時情報発信していきます。
また、毎年度、開催している「春まちぽかぽかプロジェクト」でも、いろいろな取り組みをご紹介しますので、ぜひ、ご参加ください。
さあ、よろっさ やろっさ つなごっさ!

〔発行責任〕 社会福祉法人 能美市社会福祉協議会

〒923-1226 能美市緑が丘十一丁目 50 番地 1

TEL 0761-51-6020 FAX 0761-51-6677

<http://www.nomi-shakyo.jp/> E-mail: nomi@nomi-shakyo.jp

※ 計画書冊子は、能美市社会福祉協議会本所・支所に置いてあります。音訳テープについてもお気軽にお問い合わせください。



概要版

第2次 能美市地域福祉活動計画

よろっさ やろっさ つなごっさ!

市民参画でパワーアップ!

平成25年度～平成29年度



地域福祉推進のマスコット
のみんなちゃん

平成20年度から平成24年度までの5年間で、第1次能美市地域福祉活動計画として市の福祉計画と連携し、さまざまな地域福祉活動を行ってきました。その間、多くの市民の方々に地域福祉についての理解を深めて頂き、地域福祉の意識の醸成をすすめました。取り組んだ項目としては、

- ・各町(内)会単位で組織されている「地域福祉委員会」や「いきいきサロン」の充実と
- ・子育て支援の活動の一つとしての「ファミリー・サポート・センター」や
- ・ボランティア人口を増やすための「ボランティア・コミュニティ活動支援センター」のそれぞれに市民が参画していくしくみと、市民が気軽に集える場の創出などを進めてきました。

このような中、今までの1次計画の積み上げを基に、いよいよ平成25年度からは、更に充実をはかる2次計画(平成25年度～平成29年度)の5年間の始まりです。

第2次計画をすすめるために・・・

能美市地域福祉活動計画は、1次から2次へつながります。

第2次能美市地域福祉活動計画を推進する体制

1次

「アクションプラン委員会と
主な取り組みのアクションプラン」

地域福祉人づくり委員会

- 地域に暮らす様々な人の思いについてお互いの理解と共生の意識を高める取り組み
- 世代間ふれあい交流の促進
- 福祉教育の研究会の立ち上げ
- 認知症サポーター養成講座開催

地域福祉ネットワークづくり委員会

- 地域福祉委員会の設置
- 地域福祉委員会モデル地区指定
- 地域福祉活動の重点項目
 - * 見守りネットワーク活動の充実
 - * 要援護者支援体制の整備など
- いきいきサロン連絡会の立ち上げ

地域福祉支えあいのしくみづくり委員会

- 「支えあいのしくみ」「たすけあい」に関する住民の理解を進める
- ファミリー・サポート・センターの運営の企画実践(運営委員会構築)
- 子育てサポーター養成講座や交流の機会をつくる

私たちのボランティアセンターづくり委員会

- ボランティア・コミュニティ活動支援センター運営委員会の構築
- ボランティアの活動拠点としての情報システムの構築
- 住民の相談窓口としてのマッチング機能充実
- ボランティア個人や団体の活動支援や交流の場づくり など

2次

「計画でめざすことと、取り組みを推進する体制」

- ◆地域のだれもが心豊かに暮らせることをすすめるために、地域における「ふれあい行事」を通して気づきを促し、「人のところに寄り添える人」を増やすことをめざす。
- ◆障がい別の特性を理解し、関わり方を学ぶための講座を開催するなど、学びの機会を増やす。
- ◆当事者や家族の思いを聴く・活かすことを大切にしていくことをめざす。

こころに寄り添える人づくり委員会

- ◆地域のだれもが安心・安全に暮らせるよう、見守りネットワーク体制の推進と充実をめざす。
 - * 地域福祉委員会の設置と活動の充実
 - * 日常生活支援等の取り組みの充実
 - * いきいきサロン活動の充実
 - * 医療・介護・福祉の連携
 - * 企業・商店等も含めた地域ぐるみの連携 など
- ◆共助・互助の理解をすすめる講座を実施し、市民の意識啓発をめざす。
- ◆地域における権利擁護や虐待、貧困、社会的孤立、住宅、就労等の課題に対する相談・支援体制の充実をめざす。
- ◆高齢者や障がいのある人等のサービス提供事業所が地域の見守り・支えあいの輪の中に入るために情報交換や研修の機会の充実をめざす。

地域見守りネットワークづくり委員会

(地域における支えあいの基盤とその活動の充実を推進する)

- ◆子育て支援体制の充実のために、常設の親子サロンの設置を含め、市・社協・市民が連携し、ファミリー・サポート・センター・親子サロン・子育て支援センターの有機活用をめざす。
- ◆地域における「支えあい・たすけあい」意識が広まるよう、市民向けに子育てサポーター養成講座を実施し、地域における子育て支援者の核を育成し、子育て環境の充実をめざす。

支えあいのしくみづくり委員会

(子育て応援やボランティア活動支援の更なる充実と、高齢者や障がいのある人など、地域に暮らす人々を対象とした支えあいのしくみづくりを推進する)

- ◆心豊かに暮らせるよう、市民が集い易く、気軽に情報の収集・発信ができるボランティア・コミュニティ活動支援センターの充実をめざす。
- ◆地域における「支えあい・たすけあい」意識が広まるよう、市民向けにボランティアコーディネーター養成講座を実施し、地域におけるボランティア活動者の核を育成し、ボランティア活動の充実をめざす。
- ◆高齢者や障がいのある人など、地域に暮らす人々を対象とした支えあいのしくみづくりを推進する。

は情報交換する小委員会、市の関連会議や運営委員等

(*) 地域福祉委員会活動を推進する小委員会
・ゴミだし・買い物支援等日常生活支援を考える

サービス提供事業所の研修連絡会

(*) 地域における権利擁護や虐待・貧困・社会的孤立・住宅・就労問題などを考える各種小委員会

(*) 子育て応援を推進する小委員会

(*) ファミリー・サポート・センター運営委員会

(*) ボランティア・コミュニティ活動支援センター運営委員会

あたたかい地域づくりの会

基本理念

市民参画型 こころ豊かな福祉社会の創造

基本目標

私らしくいきいきと安心・安全に幸せ感を持って暮らせる地域づくり

方針

市民の参画意識をさらに高める
～自助・共助の活動推進のしくみづくり～
市民参画のしくみをつくる
～共助活動の実践のしくみづくり～

関係するいろいろな小委員会（市の関連会議や組織、各運営委員会など）と情報交換し、地域での取り組みを考えていきます。

こころに寄り添える人づくり委員会

地域に暮らす様々な人の思いについてお互いの理解と共生の意識を高める取り組みをすすめる。

地域見守りネットワークづくり委員会

地域における支えあいの基盤とその活動の充実を推進する。

支えあいのしくみづくり委員会

子育て応援やボランティア活動支援の更なる充実と、高齢者や障がいのある人等、地域に暮らす人々を対象とした支えあいのしくみづくりを推進する。

あたたかい地域づくりの会

(共通の課題や新たな課題の解決に対応する推進体制の整理を行い、全体での検討を進めます。)

地域のみんなの支えあい大切ですね!
(すずらの花言葉は「幸福が訪れる」です。)

一人一人ができることに参加して、能美市民のパワーを発揮しましょう!!

本計画の進捗状況等を評価する組織として能美市地域福祉活動計画評価委員会を設置し、毎年度進捗状況等を評価します。
また、3年目と5年目に評価内容を報告します。
(市社会福祉協議会ホームページにおいて公開していきます。)